

# 宗教改革の信仰とは

2024年10月27日

Messenger 深尾吉照 牧師

Worship Leader Akiho

本日の聖書箇所

《 ローマ人への手紙 3章 19～28節 》

19 私たちは知っています。律法が言うことはみな、律法の下にある者たちに対して語られているのです。それは、すべての口がふさがれて、全世界が神のさばきに服するためです。

20 なぜなら、人はだれも、律法を行うことによって神の前に義と認められないからです。律法を通して生じるのは罪の意識です。

21 しかし今や、律法とは関わりなく、律法と預言者たちの書によって証しされて、神の義が示されました。

22 すなわち、イエス・キリストを信じることによって、信じるすべての人に与えられる神の義です。そこに差別はありません。

- 23 すべての人は罪を犯して、神の栄光を受けることができず、
- 24 神の恵みにより、キリスト・イエスによる贖いを通して  
価なしに義と認められるからです。
- 25 神はこの方を、信仰によって受けるべき、血による宥めの  
ささげ物として公に示されました。ご自分の義を  
明らかにされるためです。神は忍耐をもって、これまで  
犯されてきた罪を見逃してこられたのです。
- 26 すなわち、ご自分が義であり、イエスを信じる者を義と  
認める方であることを示すため、今この時に、ご自分の義  
を明らかにされたのです。
- 27 それでは、私たちの誇りはどこにあるのでしょうか。  
それは取り除かれました。どのような種類の律法に  
よってでしょうか。行いの律法でしょうか。いいえ、  
信仰の律法によつてです。
- 28 人は律法の行いとは関わりなく、信仰によって義と  
認められると、私たちは考えているからです。

### ヨハネの福音書 8 章 31～36 節

- 31 イエスは、ご自分を信じたユダヤ人たちに言われた。  
「あなたがたは、わたしのことばにとどまるなら、  
本当にわたしの弟子です。」

32 あなたがたは真理を知り、真理はあなたがたを  
自由にします。」

33 彼らはイエスに答えた。

「私たちはアブラハムの子孫であって、今までだれの奴隷  
になったこともありません。どうして、『あなたがたは  
自由になる』と言われるのですか。」

34 イエスは彼らに答えられた。

「まことに、まことに、あなたがたに言います。  
罪を行っている者はみな、罪の奴隷です。」

35 奴隷はいつまでも家にいるわけではありませんが、  
息子はいつまでもいます。

36 ですから、子があなたがたを自由にするなら、  
あなたがたは本当に自由になるのです。

### エレミヤ書 31 章 31～34 節

31 見よ、その時代が来る——主のことば——。

そのとき、わたしはイスラエルの家およびユダの家と、  
新しい契約を結ぶ。

32 その契約は、わたしが彼らの先祖の手を取って、

エジプトの地から導き出した日に、彼らと結んだ契約の  
ようではない。わたしは彼らの主であったのに、彼らは  
わたしの契約を破った——主のことば——。

33 これらの日の後に、わたしがイスラエルの家と結ぶ  
契約はこうである——主のことば——。わたしは、わたしの  
律法を彼らのただ中に置き、彼らの心にこれを書き記す。  
わたしは彼らの神となり、彼らはわたしの民となる。

34 彼らはもはや、それぞれ隣人に、あるいはそれぞれ  
兄弟に、『主を知れ』と言って教えることはない。  
彼らがみな、身分の低い者から高い者まで、わたしを  
知るようになるからだ——主のことば——。わたしが  
彼らの不義を赦し、もはや彼らの罪を思い起こさないから  
だ。」

### 考えてみましょう

- 今日、聞かれたお話の感想を分かち合いましょう。